

RI会長挨拶（ジェニファー・E・ジョーンズ）／ガバナー就任挨拶（細淵雅邦）

直前ガバナー挨拶（松本輝夫）／研修リーダー挨拶（大貫等）

ガバナー補佐挨拶（齊藤茂／斎藤光人／黒白秀幸／内山康成／那須敬明／小林久純／小林達郎／株竹真次／斎藤幸子／尾ヶ井實／伊藤高太郎／金子篤徳）
部門委員長挨拶（岡村睦美／瀬田秀樹／新井秀雄／伊藤敦彦／平田利雄／原田晃博／大塚崇行／小山陽一郎／島村健）／委員長挨拶（22名）
地区幹事挨拶（近藤雅透）／地区副幹事紹介（25名）



ジェニファー会長

RI 会長挨拶

ジェニファー・E・ジョーンズ

ウィンザーにある Media Street Productions Inc. の創業者兼社長。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medal を受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学 Peacemaker of the Year Award を受賞しました。また、法学の博士号 (LL.D.) を有しています。



「自分が望むような社会で暮らしたいのなら、あなたもその社会づくりに携わなければならない」。これは私の一番下の弟の言葉ですが、これは私たちの存在、そして私たちの活動の核心に迫るものです。今の私たちはロータリーの創設者たちが推進したこと、つまりロータリーの中核的価値観、ロータリーの目的、そして四つのテストに根ざしているはずです。これらは私たちがロータリアンであることの根幹をなす原則です。時代が変わろうとも、この原則はロータリアンにとって神聖な真実であり続けるのです。私は、ロータリーは戦略計画に焦点を当てることで「より大きなインパクト」をもたらし、あらゆる年齢、性別、文化でロータリーファミリーの「参加者の基盤を広げる」ことで、持続可能な良い変化を生み出していると考えています。新しい戦略的優先事項を検討するにあたり、近年の歴史の中でも紛れもなく最も重大な時期に、ロータリーの「適応力」が私たちの道しるべになろうとは誰も予想だにしていませんでした。世界は後退しましたが、私たちは進歩しました。希望の兆しは最も困難な状況から生まれるものです。計量を重視した目標を基軸に、私はこの歴史的な状況を生かし、今日の現実を反映した機会を取り入れ、培い、人びとに伝えていきます。私は世界的に認められたコミュニケーターとして、社会的チャンネルを通じてロータリーファミリーと直接対話ができる機会を設け、ポリオ根絶や環境の保全、ローターアクトの地位向上、ロータリーの成長といった最も差し迫った問題についての認識を高めていきます。多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) を最優先とし、次に女性会員や 40 歳以下の会員を増加させるためには、このような会員構成がリーダー陣の構成にも反映される必要があります。どちらの目標でも 2 桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失うことがないようにします。

ジョーンズ氏は 1997 年にロータリーに入会し、RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために 1 億 5000 万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020 年には、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的とした「#ロータリーによる対応」(#Rotary Respondes) のテレソン (Telethon) を先導。このイベントは 65,000 人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・克蘭フ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。

From Governor

IMAGINE ROTARY

— イマジン ローター —

国際ロータリー第 2770 地区 ガバナー

細淵 雅邦
(浦和 RC)



2 770 地区の皆様、2022-2023 年度が始まります。

今年度は、下がってはきてはおりますが新型コロナウイルス感染症が未だ終息の気配が見えず、人々の生活にも影響をうけているところですが、本原稿を執筆している現時点で更に大きな問題として、ロシアによるウクライナに軍事侵攻が継続されております。我々にとり、国際理解、親善、平和はロータリーの目的にも書かれているとおり永遠のテーマであり、世界平和は人類にとり最も大切なことであると思います。

“原点”に戻ってみると、ロータリーは、奉仕を通じ人々に幸福をもたらすと共に、メンバー自身にも、ゆたかな生活の創造をもたらす必要があると考えます。ロータリークラブ活動を通じ価値観を共有し、楽しく、有意義で、人生に充実感のある、ロータリーライフをご一緒にすごしていただければと考えております。

ロータリーに入り、自分の人生はとても充実している。

ロータリーに入り、かけがえのない友人をえることができる。

ロータリーに入り、人のため、社会のために役立つことができる。

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長による RI テーマを受け 2022-2023 年度地区運営方針は、

創造しよう未来への調和

—ロータリーに DEI の爽やかな風を—

人間力を高め、生き方のモチベーションをあげ、ゆたかな人生を創造する。
皆様と共にクラブを活性化し、平和な世界を目指すため、ベストを尽くして活動し、
ロータリークラブを有意義に、そして、大いにたのしもうではありませんか。

●多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を受容し、行動で示すべきであると信じています。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

多様性 (DIVERSITY)

年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認への言及にかかわらず、あらゆる背景、経験、アイデンティティをもつ人がいること。

公平さ (EQUITY)

参加者が快適かつ生産的な体験をできるよう、さまざまなレベルの支援、機会、リソースを提供する方法について慎重に検討すること。

インクルージョン、包摂 (INCLUSION)

すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を創造すること。

直前ガバナー挨拶

2021～22年度 ガバナー
松本 輝夫
(さいたま中央 RC)



2022-23年度 細淵雅邦ガバナー年度がスタートしました。

細淵ガバナーは、地区役員人事を周到な準備で行い、地区チーム研修、P E T S、地区研修協議会の三大研修会を終了されました。

今年度のジェニファージョーンズ R I 会長のテーマは「イマジン」で、とても大きく、抽象的なテーマとなっており捉えにくい点があります。これをロータリー活動に結びつけていくことは困難さが伴うと思いますが、細淵ガバナーは、その豊かな国際経験から D E I の理念を梃子にして、R I テーマを 2770 地区の 74 クラブ全部に浸透させようとしているようです。

地区役員は、今年度テーマを、わかりやすくクラブに伝えていく努力が必要で、私も管理運営部門の諮問委員として最大限の協力をするを誓約します。

細淵丸がどんな荒天にも負けず、一年間の航海を続け、無事帰還することを祈念して新年度の激励のご挨拶といたします。



研修リーダー挨拶

2022～23年度 地区研修リーダー

大貫 等
(上尾西 RC)



いよいよ2022年度を迎え各クラブの皆様におかれましては、それぞれの新たな目標に向け心躍らせていることと思います。

同時にこの二年半の間、緊急事態宣言、蔓延防止措置等で、生活様式やクラブの活動様式も制限を受け、いろいろと変更をせざるを得なかった期間もやっと解除され、以前のような生活や活動に戻りつつある中、「さて、今年度こそは」と2770地区会員皆様におかれましては思いを馳せていることと、心よりお喜び申し上げます。

今年度、地区研修リーダーを務めることになりました、上尾西RC所属、2017～18年度地区ガバナーを務めました大貫等と申します。一年間、宜しくお願い致します。

ご案内の通り世界的パンデミックにより、ロータリーの活動も大きな変化を強いられました。国際大会や国際協議会、規定審議会、国内ではガバナー会やロータリー研究会、地区大会やIM、そして各クラブ例会に至るまで、それぞれの努力により、リモート形式やハイブリッド形式、時にはインパーソ形式と、その場その時々でロータリー活動を継続させ、正に「世界を変える行動人」を文字通り発揮され、この危機を世界中のロータリアンの総力で乗り越えることができました。これこそが世界をリードするロータリーの底力そのものと感銘を受けた、そして実感したことは、私だけではないのではないのでしょうか。

これはすべてのロータリアンの英知が結集され、各職業スキルそして知識やSNS等を活用し、貪欲なまでにロータリーを途絶えさすまい、何としても継続させたいという執念の賜物だと思います。まさに民族、人種、アイデンティティー、宗教、文化、心情、性別、経済力など関係なく、一致団結して力を結集させ、世界の全ロータリアンでこのパンデミックの危機、ロータリー崩壊の危機を乗り切ったという安堵感を皆が持ったのではないのでしょうか。

そのような中で2022～23年度ジェニファー・ジョーンズRI会長はRIテーマとして「イマジンロータリー」を掲げ、そして細淵ガバナーは地区方針として「創造しよう未来への調和」を掲げました。

そして本年度よりロータリーは「DEI」を強く提唱し、多様性、公平さ、インクルージョンを実践することにより、幅広いロータリーの活動を展開し、いろいろな人々を平等とは異なった公平さをもって巻き込み迎え入れること、そしてより大きな活動として広げていくことにより、最終的に盤石な会員基盤を構築することになるとしています。

この「DEI」構想は以前より案内されていましたが、今年度より明確に始まったものです。是非とも良くかみ砕きクラブの実情に合わせながら、クラブに適した方法で取り入れて頂くことを切に望みます。

結びに各クラブのご活躍、ご発展と合わせ、会員皆様には細淵年度に対し多大なるお力を賜り共に支えて頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

齊藤 茂

第1グループ ガバナー補佐 (浦和東 RC)



皆さん今日は、細淵雅邦ガバナー年度、第1グループガバナー補佐の職務を務めさせていただきます浦和東RC所属の齊藤茂です。

日頃より、皆様には大変温かいご指導ご鞭撻を頂き心よりお礼申し上げます。

お陰様をもちましてロータリーライフも早26年たちました、1995年11月28日浦和東RCに入会させて頂きましたことが昨日の様に思います。

私は、先輩方、クラブの仲間にして地区のガバナー、地区役員の方々の温かいご指導のもとお蔭をもちまして楽しいロータリーライフを過ごさせて頂いております。

これもロータリーの皆様のお蔭と重ねてお礼申し上げます。

私の、クラブと地区の職歴を述べさせていただきます、クラブに於きましてはプログラム委員長（3回）・社会奉仕委員長・クラブ幹事・クラブ管理運営常任委員長・会員増強委員長・クラブ副会長・クラブ会長・SAA・ロータリー情報研修委員長・奉仕プロジェクト

委員長、地区に於きましては、会員増強委員会・ガバナースタッフ・財団委員会・国際奉仕委員会・社会奉仕委員会と多くの経験と勉強をさせていただ

きました。

今、コロナ渦の為ロータリー活動もやむなく停滞しておりましたが細淵雅邦年度においてはロータリー奉仕活動を含め、各クラブ活発に動き始めると確信しております。

2022～2023年度RIジェニファーE ジョーンズ会長のテーマでありますイマジンロータリーを基に国際ロータリー第2770地区細淵雅邦ガバナーは地区運営方針を「創造しよう未来への調和」一ロータリーにDEIの爽やかな風を一と決めました、私たち2770地区ロータリアンはこの言葉を目標に、力強くロータリー活動に向かって行くことと思います。

私はガバナー補佐幹事、時友正孝会員と共に力を合わせて第1グループガバナー補佐としての職務を全う致します。

私は、各クラブの会長はじめ会員の皆様へ本年度細淵雅邦ガバナー地区運営方針の理解を深めて頂き実りある年度になる様ガバナー補佐の職務を時友正孝補佐幹事と共に努めます。

まずは各クラブ奉仕活動の充実・会員増強の在り方と共に退会防止の在り方・財団・米山寄付の理解そしてポリオワクチンの必要性をしっかりと理解をして頂けるよう活動致します。

又、新会員の皆様には各クラブを超えて分かりやすく楽しい勉強会と忌憚の無い意見交換会と懇親会等を開いてロータリーライフの楽しさを分かって頂く会合などを企画して頂き会員相互が、思い出に残る年度に成り、クラブの活性化と共にクラブの発展につながる様各クラブ会長会員と共に一丸と成り、ガバナー補佐としての職務に精進致します。

斎藤 光人

第2グループ ガバナー補佐 (浦和北 RC)



2022～2023細淵年度第2グループガバナー補佐を拝命致しました、浦和北ロータリークラブの斎藤光人です。これから一年間よろしくお願い申し上げます。

RI会長のジェニファージョーンズさんのテーマは イマジンロータリー を掲げました。細淵ガバナーは2770地区活動方針を 創造しよう未来への調和を ロータリーにDEIの爽やかな風を 掲げました。私達ガバナー補佐の役割は細淵ガバナーをサポートしてクラブと地区をしっかりと繋ぐ事が責

務です。第2770地区の会員目標(2500名)とロータリー財団ならびに米山記念奨学会寄付金、出席率90%以上、青少年交換9名が地区数値目標になります。更に本年度細淵ガバナーは11月の地区大会で各クラブ又は各グループでの奉仕活動の発表の機会を掲げております、各クラブの会長、幹事、そして会員さんと効果的に協力して各ロータリークラブを強く魅力的なクラブになります様、皆様からのご指導、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022～2023年度RI会長ジェニファージョーンズさんの想いをしっかりと受け止めて第2グループは創造する未来に向かってロータリアンのモチベーション向上、そして各クラブの活性化の支援を最優先に(D)多様性、(E)公平さ、(I)調和、を推進し、学び、向上し続けていくことに真摯に取り組みたいと思います、本年度重ねてよろしくお願い申し上げます。

那須 敬明

第5グループ ガバナー補佐
(上尾北 RC)



今年度、第5グループガバナー補佐を務めさせて頂きます。上尾北ロータリークラブ所属の那須です。

ロータリー歴27年目でこのような大役がまわってくるとは思っていませんでした。ここ2～3年コロナ禍で思うようなロータリー活動が出来ませんでしたが、ようやく脱コロナ禍の動きが始まり規制も解除されましたので、今年度はリアルで皆様と共にロータリーライフを楽しみたいと思います。

小林 久純

第6グループ ガバナー補佐
(春日部 RC)



2022～2023細淵ガバナー年度 国際ロータリー第2770地区 第6グループ ガバナー補佐を務めさせて頂きます春日部ロータリークラブ所属 小林久純と申します。至らぬ点など多々あると存じますが、一年間よろしくお願いいたします。さて、日本のロータリーは、近年会員数が徐々に減少傾向にあり、危機的な状況であると言われています。また、現在も続く新型コロナウイルスの蔓延により、クラブの活動も制限されたものになり、活力が失われつつあります。このような状況の中、細淵ガバナーは、DE and I (Diversity, Equity, Inclusion) の概念を推進し、クラブの活性

化を目指すと言われています。Diversity 多様性、Equity 公平性、Inclusion 調和、これらはロータリーの思想の根幹をなすものであり、原点に立ち返ってこの概念の再認識を推進することは、失われつつある活力を取り戻し、さらなる発展へと導くものと思います。具体的には、地区の委員会とガバナー補佐、それぞれのクラブとの連携を強化し、情報共有とサポートの体制を充実させ、クラブの活性化につなげて行こうとされています。この主旨を踏まえ、本年度は各グループ内のすべてのクラブの共同で奉仕活動を行い、11月の地区大会でその内容を発表するという企画がたてられています。それぞれのクラブの活動とは別に新たな奉仕活動を短期間で立案・準備し実施することは、大変困難な道のりであり、グループ内のクラブの皆様には多大なご協力をお願いすることとなりますが、ロータリーの活性化のため、クラブを超えて協力し合い、奉仕活動の実施に向けて皆様のお力をお借りしたいと思います。

小林 達郎

第7グループ ガバナー補佐
(幸手中央 RC)



本年度、第7グループガバナー補佐を務めさせて頂きます幸手中央ロータリークラブ所属の小林達郎です。1年間よろしくお願いいたします。

2022～23年度のジェニファーEジョーズRI

会長のテーマは「イマジンロータリー」です。細淵ガバナーは、地区運営方針として「創造しよう未来への調和 ロータリーにDEIの爽やかな風を」と掲げられました。そして、2770地区では、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を推進し、学び、向上し続けていくことに真摯に取り組み、クラブ活性化に向けて、各クラブから発信してほしいと述べられました。それを踏まえ、各グループでの合同奉仕活動を実施する予定ですので、会員の皆様には積極的な参加をお願いします。

ガバナー補佐は、クラブと地区を結びつける重要な存在であり、主な役割は、各クラブへ定期的に訪問し、クラブの現状をガバナーに報告すると共に、地区とクラブのパイプ役になることにあります。また、地区からの情報発信のみならず、お互いに発信・受信することで情報交換し、地区、クラブの架け橋になるよう努めます。第7グループは、幸手RC、蓮田RC、久喜RC、幸手中央RCの4クラブ

で構成され、各クラブでは、地元密着型の素晴らしい社会奉仕活動、青少年活動、親睦活動を行っております。会長・幹事会では、それらの情報の共有化、意見交換など風通しの良い運営をするように努めたいと思います。

第7グループの会員の皆様には、明るく楽しいロータリー活動をする所存ですので、ご指導、ご協力をお願いします。

株竹 眞次

第8グループ ガバナー補佐 (越谷東 RC)



第8グループのガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました、株竹眞次と申します。

1993年5月、越谷東ロータリークラブに入会させて頂き、奉仕活動や親睦活動を重ねながら、今年で29年が経ちました。まだまだ経験不足とは思いますが、地区、クラブの架け橋となりクラブ活性化のために努力いたします、宜しくお願い申し上げます。

細淵ガバナーはRIジョーンズ会長の掲げた、イマジン（想像）を実現するために想像から創造へと一歩前

に進んで行こうと・・・そして地区運営方針ではロータリーの価値観に従い、創造する未来にむけDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の爽やかな風をもたらし、学び、向上し続けていくことに全力を尽くし、クラブをサポートしていきます、と言っています

また、ガバナー補佐会議の中で細淵ガバナーより、各グループへの合同事業の要望がありました。早々、第8グループの会長、幹事会を通して合同事業の審議をかさねた結果、ポリオ根絶チャリティコンサートを開催することに決定いたしました。

そして、この事業の結果を11月の地区大会の場において報告することになります。

第8グループ一丸となり頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

齋藤 幸子

第9グループ ガバナー補佐 (草加シティ RC)



2022-23年度第9グループガバナー補佐を拝命しました、草加シティロータリークラブ齋藤幸子です。一年間よろしくお願いします。

今年度、ジェニファー・E・ジョーンズRI会長は「イマジンロータリー」をテーマとし、多様性・公平性・インクルージョン(DEI)を強調されました。細淵ガバナーにおかれましてもRIテーマを受け、各クラブにDEIをよく理解し、具現化に向け

て、持続可能性の高い運営を期待されています。

ガバナー補佐の役割はガバナーをサポートし、クラブと地区を繋ぐことです。細淵ガバナーの方針・目標をグループ内のクラブにお伝えし、一つ一つの活動が実践出来ますよう務めたいと思います。

新型コロナウイルスによるパンデミックは終息の兆しが見えず不安な状況にありますが、オンラインのデジタルサポート等も整えられ、例会活動が行える環境となりました。こうした新しい方法を模索しながら、活動の勢いを止めることなく、協力し合うことこそ成長が必ずあると信じています。

グループ内の会長・幹事の皆様と連携と友和を深め、目標を達成して参りたいと思います。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

尾ヶ井 實

第10グループ ガバナー補佐 (吉川 RC)



2022～23年度第10グループガバナー補佐の大役を拝命させて頂きました吉川ロータリークラブ所属の尾ヶ井實です。グループ各クラブの会員の皆さま一年間どうぞ宜しくお願い致します。今年度RIテーマは「イマジン ロータリー」です。イマジン想像 さて2022～23年度女性初のRI会長に就任されましたジェニファー ジョーンズさんが選出されるにあたりロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン」(DEI)に関する声明の重要性を十分に理解されているそうで

す。この「DEI」を通して私もこの一年間を細淵雅邦ガバナーの補佐役の一人として責務を果たしながら会員の皆さんと一緒に勉強してまいります。今年度の地区目標や細淵ガバナーの思いである「各クラブが戦略目標を策定され いかにクラブの活性化につなげるか自発的に行動できるか」を年頭に自分なりのペースで各クラブ会員の皆様にお伝えられればと思っています 何卒ご理解とご協力をお願い致します。まだまだコロナ禍の最中ではありますが 各クラブの会員の皆様方におかれましては充分にお体をご自愛下さいますようお願い致します、またロータリーの目的でもありますように ロータリアンとして何か楽しい事を見つけ楽しみながら奉仕活動にも頑張ってくださいと思います。グループの皆様一年間どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤 高太郎

第11グループ ガバナー補佐 (川口南 RC)



私は、川口南RC創立メンバー、ステンレス鑄造業を営む干支寅年です。クラブ会長、幹事経験2回です。現場仕事で鍛えた体は、最近競技志向でエイジシュート達成させました。ゴルフは趣味というより健康の源と考えるようになっていきます

さて、本年度は細淵ガバナーの方針でクラブ活性化のお手伝いとして、地区大会でグループごとに奉仕活動の発表があります。第11グループは会長幹事会でフードドライブを提唱して承認をされました。新しい奉仕活動を考えていた時、社協の方に相

談したところ、現在貧困で食べるのにも困っている方が大勢いらっしゃる、奉仕をするならその方々に目を向けてほしい。こういう経緯で決まりました。7つの重点項目から外れるかも知れませんが、目を背けることもできません。やり方を検討中ですが、関わることで何かを感じて新プログラム創造のきっかけになればと思います。

会員減少はわがクラブにおいても深刻です。仲間が減るのは寂しい限りです。若い方々の入会を期待しなくてはなりません。増強は必要なことは当たり前ですが、魅力の無い増強は考えられません。会員の魅力、クラブの魅力、ロータリークラブの魅力。グループを通してロータリーの輪の広がりが叶うよう補佐としての役割を考えていきたいと思っています。皆様のご協力お願いいたします。

金子 篤徳

第12グループ ガバナー補佐
(戸田 RC)



本年を務めさせていただきます 戸田ロータリークラブ金子篤徳です。昭和24年戸田生まれの団塊の世代です。市内で建材業、建築士事務所、不動産貸付など営んでおります。私がロータリークラブに入会したのは二十一世紀になった年、父親がクラブを退会後、引継ぎの入会でした。クラブでは親しく本音でおつきあいさせていただき、毎週の例会出席を楽しみに感じて現在にいたっており、この度、補佐という大役に責任を感じているところです。今年度の女性初めてのジェニファー・ジョーンズ RI 会長の活動方針、イマジンロータリーにより、細瀬雅邦ガバナーは今年度2770地

区の方針を示され、DEI推進に向けて私達ガバナー補佐は昨年より研修等で指導を受けてきました。そしてガバナーは11月地区大会に向けて各グループでの合同事業開催とその成果発表について提唱され、早々にグループ会長幹事会に於いて事業展開方法を検討しております。また来年開催予定のIMの内容についてなど、いまだ終息の見えないコロナ禍の中、また不安定な世界情勢の続く中で私達の活動につき実行に向けての計画もしております。また12グループでは会員減で少人数になったクラブも多く、各クラブ共通の危機意識として、グループでの効果的な会員増強策につき検討していく予定です。ガバナー補佐として細瀬ガバナーとクラブのパイプ役として、各クラブの方針や効果的に運営されている内容を理解し、そして連絡を蜜にして細瀬ガバナーの活動方針遂行に努力致します。1年間、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

山内 一浩

ロータリーの友 地区代表委員
(浦和 RC)



ロータリーの地区代表委員はガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」の構成員でありガバナーの代表者です。ガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行ったりします。ロータリアンの義務とされているのはロータリーの友の購読です。読んでご活用いただき、クラブで行われた事業を投稿してください。

ロータリーの友の購読です。読んでご活用いただき、クラブで行われた事業を投稿してください。

長島 良亮

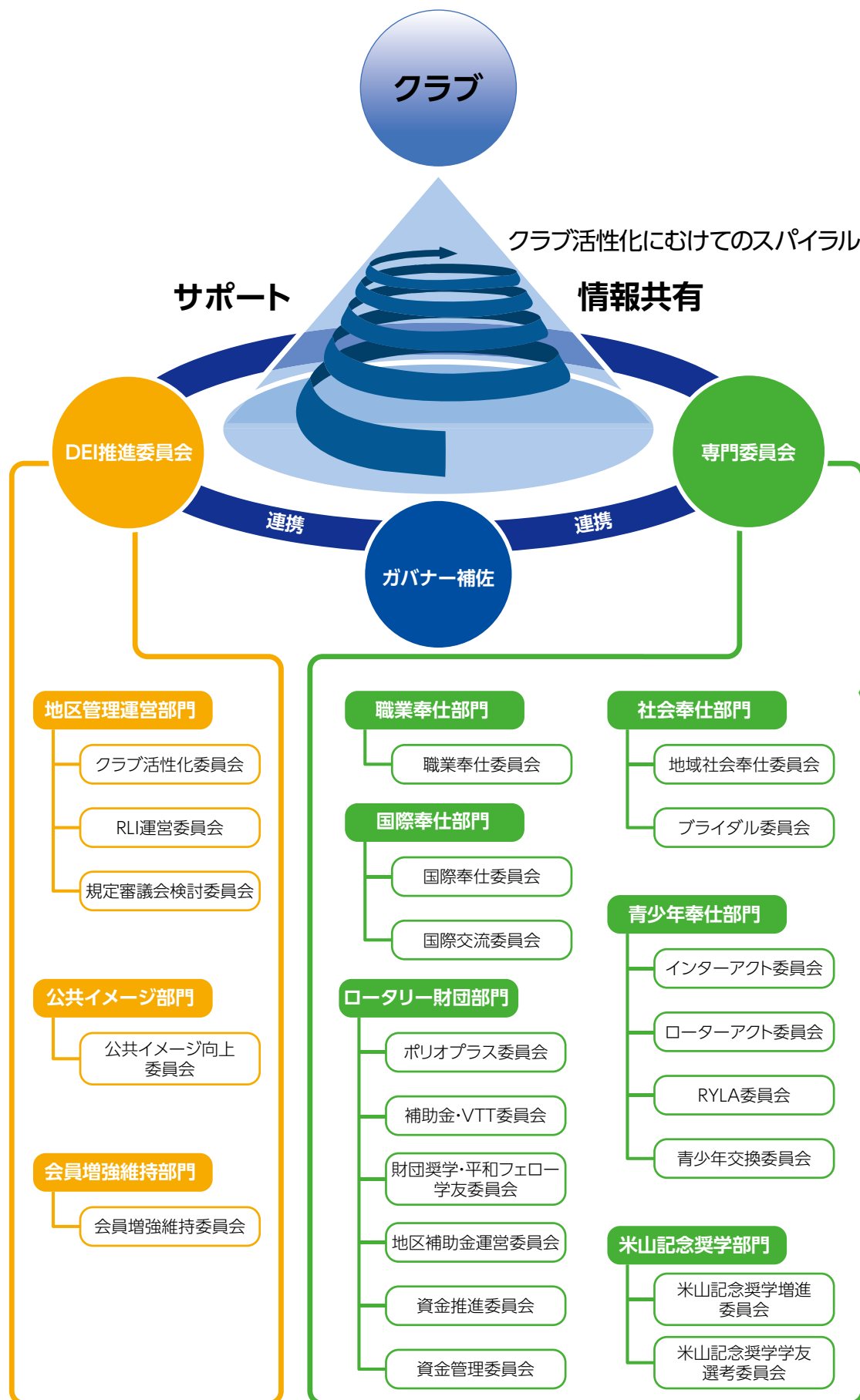
地区会計
(浦和 RC)



2022～2023年度収支予算額は実態に合わせて2500名(100名減)で予算を組み、地区活動費予算は同額にし、地区事務所運営費の予算削減で対応しました。各クラブの会長に於かれましては地区分担金会員一人当

たり24,000円の期限内納付をお願いいたします。また、各部門、委員会の活動費は予算の範囲内での活動をお願いいたします。

国際ロータリー第2770地区 組織図



部門委員長・委員長

<<管理運営部門>>

管理運営部門委員長
岡村 睦美 (川口 RC)



クラブ機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものすべてを充実させる部門です。クラブ奉仕は、クラブの根底を成すものです。

奉仕活動を実現させるには、まずクラブ内の充実が大切。それらの方向性を示すのが、クラブでいえば「クラブ管理運営委員会・部門」であり、地区でいえば現在の「管理運営部門」になります。

私たち三部門（管理運営・公共イメージ・増強維持）は協力して活動する一歩を、D（Diversity/ 多様性）、E（Equity/ 公平）、I（Inclusion/ インクルージョン）という未来の世界を創造する為に踏み出します。



クラブ活性化委員長
羽田 しげみ (大宮南 RC)

クラブ活性化の為に情報交換、実行計画案、調整と準備の実施に取り組みます。74のクラブ毎に、地域や構成メンバーの違いを考慮し、クラブの抱える課題、戦略計画の実行に向けての情報共有、情報交換、サポートを実施します。



R L I 運営委員長
請川 かおり (川口 RC)

リーダーシップ開発を行うプログラムです。講義型ではなく、ディスカッションリーダーにより参加者に問いかけて、考え、答えを導き出す、という手法のセミナーです。

クラブ内の会長エレクトや幹事候補に積極的に参加して頂きたいと思います。



規定審議会検討委員長
熊木 広光 (大宮中央 RC)

規定審議会検討委員会は、新たに設置された委員会です。

クラブ運営に関する標準ロータリークラブ定款をはじめ、国際ロータリー定款、国際ロータリー細則を審議・決定するR Iの立法機関である、3年に一度開催される規定審議会（COL）と、毎年開催される決議審議会（COR）の理解を深めて頂くための周知と、クラブが決議案、制定案を提出するときの支援をすることを目的とする委員会になります。

<<公共イメージ部門>>

公共イメージ部門委員長
瀬田 秀樹 (八潮 RC)



クラブや地区活動プロジェクトについて地域社会の人びとに広く伝えることで、ロータリーへの認識を高めていくことです。

地域社会が求めている多様なニーズの掘り起こし、その問題に関連したプロジェクトの実施や、地域の大きなイベントのスポンサーなど、公共イメージは会員やクラブの地域社会への参加によって形つくられると思います。

公共イメージ部門はD E I 推進委員会として管理運営部門、会員増強維持部門、I T 委員会と連携し、情報を共有することでクラブ活性化のためのサポートをさせていただきます。



公共イメージ向上委員長
柳沼 憲一 (幸手 RC)

地区HPを活用し74クラブの例会や事業を集約しお互いに共有できる環境の構築を目指します。共有した情報をクラブ間で大いに活用し、それぞれの地域でのニーズ掘り起こし作業に繋げることができるよう情報を発信していきます。

また公共イメージと奉仕事業は常に一体であり連携が不可欠であるという観点から、クラブそれぞれ地域のために実行してきた事業を幅広く伝えるための有効な活用法を発信していきたいと思います。

<<会員増強維持部門>>

会員増強維持部門委員長
新井 秀雄 (川口 RC)



会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。正しく企業経営に当てはめれば、「社員満足」が顧客サービスの質を高め「顧客創造」に繋がり企業の発展成長に大きく寄与します。魅力ある会社には人が集まります。

クラブに魅力を持った会員が友人、知人をクラブに誘い、そしてその輪が広がっていく善循環で仲間を増やし、より地域社会や世界に良いことをしてゆたかな人生を創造できる。

本年度はガバナー補佐と連携し、各グループ会長幹事会に出席させていただき、各クラブ会長に会員増強の啓蒙と問題点を共有し、具体的成功事例の共有と現状把握を行いクラブ会員増強維持のサポートをしてまいりたいと思います。

<<職業奉仕部門>>

職業奉仕部門委員長
伊藤 敦彦 (幸手 RC)



高潔性を理解し高い倫理基準のもと日々活動して頂く為、セミナーの開催、職業奉仕卓話、奉仕を实践しておられます会員の皆様のご紹介等を活動目標として進めてまいりたいと思っております。

各クラブからご提出いただいております職業分類表に基づき各会員の皆様が地区内に置かしても多種の分野において (SDGs 分野も含め) 情報交換ができるように資料を作成してまいりたいと思います。



職業奉仕委員長
岸 雅則 (久喜 RC)

職業奉仕は、「ロータリーの目的」第2項を土台としており、これらを実現するために、まずはロータリアン同士、お互いに深く知り合い、親交を深めることが重要であると

考えます。

そこで、職業奉仕委員会として、お互いのことを知っていただくための、お手伝いをする活動をしてまいります。



会員増強維持委員長
大竹 純 (川口 RC)

「楽しく」やることが大前提！

時代に合ったロータリー活動、また世の中にどのようなニーズが眠っているのか内部・外部ともに情報の風通しを良くし、今の時代だからできるニューノーマルなロータリー活動の楽しさをともに共有し会員増強することが本年度の役割だと感じています。

<<社会奉仕部門>>

社会奉仕部門委員長
平田 利雄 (浦和東 RC)



地域社会と共に共生し認められる事業として、社会奉仕は有ります。知恵を出し、汗をかくと共に、コロナ禍で疲弊した地域文化を共有し、育てる事が求められています。社会奉仕部門では、も、これまで行われて来た事業を、再確認し、特にこの2年間活動の制限を受けて、地域社会の変化に対応した事業の見直し、新しい環境に対応し、求められている事業等の調査研究そして、実行を進める為、各クラブからの情報を収集し、サポート出来る様進めて参ります。



地域社会奉仕委員長
横田 松博 (浦和中 RC)

2770地区で行われている様々な地域社会奉仕活動にスポットライトをあて情報を明確化し、各クラブが新しい奉仕活動を始めるきっかけや機会になるよう働きかけます。一昨年からの社会奉仕部門独自の広報活動である「かわら版」も継続し、情報発信の内容充実と拡大をはかります。コロナ禍でなかなか進めにくかった地区とクラブの橋渡し役としての役割とともに、74クラブの奉仕活動を応援する応援団として邁進してまいります。



ブライダル委員長
藤嶋 剛史 (大宮西 RC)

今、世界各国・地域が少子化対策・育児支援策を急いでいると言われ、その背景には新型コロナウイルス感染拡大が加速させた世界的な出生数の減少があります。

ブライダル委員会では、そのような方々へさまざまな出会いの場、めぐり合いの場を提供してまいります。この地域で少しでも成婚数が増え出生率が改善されることにより、将来の地域社会の活性化に貢献してまいります。

<<国際奉仕部門>>

国際奉仕部門委員長
原田 晃博 (岩槻 RC)



海外では今現在でも様々な問題に対して我々の支援を待っている人々がいます。そんな方々の為にもなんとか知恵を絞って皆さんのご理解を戴き、一つでも多くのプロジェクトを成功させていきたいと考えております。国際奉仕部門としては皆様のクラブが少しでも世界へ目を向け『ロータリーの目的』第4項『奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。』を实践できまよう最善を尽くしていきたいと考えております。



国際奉仕委員長
名古谷 誠 (浦和 RC)

視察「リモート インспекション (遠隔視察)」
検証「リモート ヴェリフィケーション (遠隔検証)」

現地ロータリークラブと協力「ZOOM」、「SKYPE」などを活用し、リモートでの視察・検証を実現させました。今しばらくこのような形で奉仕を進め、国際的なプロジェクトをクリアしていきたいと考えております。



国際交流委員長
阿部 朋博 (越谷東 RC)

海外に姉妹友好クラブを持たないクラブは当地区内にはまだまだあります。国際大会、日韓親善会議、日台親善会議等に参加したことのないロータリアンもたくさんいらっしゃいます。国際交流委員会ではそういった方々、クラブに対し少しでもお力になれるようお手伝いをさせていただきます。

<<青少年奉仕部門>>

青少年奉仕部門委員長
大塚 崇行 (上尾 RC)



私たちはロータリアンとして次代を担う青少年への奉仕を通じてロータリーの理念や伝統を次世代の若者たちと共有していかなければなりません。それを実践するための4つの委員会(ローターアクト、インターアクト、RYLA、青少年交換)の活動を通して次世代に対する教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身に付け、奉仕の価値観を学べるように応援をまいります。

リモート等を駆使して4つの委員会それぞれの活動が繋がりを続けることを目標に努めてまいります。各クラブの皆様とも青少年との繋がりが深く保て、若いパワーをロータリーの奉仕活動に活かせるように活動し、素晴らしい未来をイメージしてまいります。



インターアクト委員長
佐藤 誠 (大宮南 RC)

国際ロータリーが定める第5の奉仕である青少年奉仕の中で12歳から18歳の青少年を対象にするのがこのインターアクト委員会です。

中学生から高校生という人生の中でも重要な期間の中で様々な経験をすることで地域社会の発展や国際相互理解に貢献する人材に成長するための活動を強力に応援していきたいと考えております。



ローターアクト委員長
北條 健二 (川口シティ鳩ヶ谷 RC)

ローターアクトは、2019年11月から、「18歳から30歳まで」という年齢制限が撤廃され、「18歳以上」となりました。30歳以降でも残りたいと思わせるような「シニアローターアクター」の様な、中堅層の人間が活躍できるようなシステムを導入することが今後の課題だと考えられます。

青少年奉仕部門委員長と連携を図りながら、提唱ロータリークラブやローターアクターに対するフォローを強化し、衰退ではなく、発展を目指していきたいと考えております。



RYLA委員長

齋藤 清和 (蓮田 RC)

RYLA とは“ロータリー青少年指導者養成プログラム”のことで、14 ～ 30 歳くらいまでの若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムです。「Rotary Youth Leadership Awards」それぞれの単語の頭文字をとり「RYLA」となります。

※ RYLA 研修セミナーを来春 (2023 年2月～5 月) に3 回程度で開催予定しております。

※ RYLA 研修参加者の終了証伝達式及び研修報告会 (2023 年5 月～6 月頃) を行う予定です。



青少年交換委員長

樋口 雅之 (上尾 RC)

ロータリー青少年交換プログラムは、約1 年間の交換留学を通じて派遣学生および来日学生にとって貴重な経験とめざましい成長をもたらす、国際理解・国際親善・世界平和を認識できるプログラムです。COVID-19 の影響により、この2 年間プログラムの中止を余儀なくされております。交換プログラムが再開された際には、中止期間をリカバリーできるよう、派遣学生、来日学生、クラブ関係者、ホストファミリー、そして ROTEX を全力でバックアップして参る所存です。

<<ロータリー財団部門>>

ロータリー財団部門委員長

小山 陽一郎 (浦和 RC)



ロータリー財団部門は、財団への理解を深めて頂く事で資金となる寄付を集める資金推進委員会、国際ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅の為に活動しポリオ・プラス寄付をお願いするポリオ・プラス委員会、地区財団活動資金 (DDF) を管理して主にグローバル補助金を使ったプロジェクトのアドバイスと専門職業人のグループを海外に派遣もしくは、受け入れてスキルや知識を提供するVTT (職業研修チーム) を支援する補助金・VTT 委員会、地区補助金の理解を広め申請の窓口となる地区補助金運営委員会、財団の補助金を使い、財団奨学生の募集、選抜、研修、派遣、受け入れクラブ及びカウンセラーの発掘、ロータリー平和フェローの学生とカウンセラーの支援を推進し、それらを終了し財団の学友となった方の管理を行う財団奨学・平和フェロー・学友委員会、財団の補助金に関して財務資金管理を行う資金管理委員会の6つの委員会で構成されています。

国際ロータリーはポリオ根絶に向けて歴史を作るカウントダウンに入りました。10月24日は世界ポリオデーです。2770 地区内各クラブのポリオ根絶への取り組みが盛り上がるようサポートして参ります。



ポリオ・プラス委員長

工藤 篤志 (川口モーニング RC)

ポリオプラス委員会は、ロータリーの最優先事項である世界ポリオ根絶活動について皆様の理解を深めるお手伝いをする事、活動の原資となる寄付への協力をお願いすることです。

ポリオデーに関する共催やご協力をいたします。情報やアイデアの提供、マッチングのお手伝いなどもいたします。ポリオについては、END POLIO NOW のページをご覧ください。
<https://www.endpolio.org/ja>



補助金委員長

荒蒔 良和 (さいたま樺 RC)

補助金・VTT 委員会は、主に以下4 つの役割を担う組織です。

(1) 情報の提供 (クラブに対し、『授与と受諾の条件』を含む補助金に関する情報を提供する)

(2) 補助金原資の配分

①DDF (地区財団活動資金) を配分、活動報告書が提出されるよう確認する

②配分に関する地区方針が守られるようにする

(3) グローバル補助金活用の奨励

(4) 職業研修チーム (VTT / Vocational Training Team) 支援に関する啓蒙



財団奨学・平和フェロー・学友委員長

原田 敬美 (川口 RC)

(1) 財団奨学生に係る応募、選考、研修、派遣などの活動、(2) ロータリー平和センターの活動支援、ロータリー平和フェローの日本での活動支援のためのカウンセラーの派遣、(3) 同窓生である学友との協力体制の維持、以上の3分野の活動をしています。



地区補助金運営委員長

福園 健 (川口モーニング RC)

地区内クラブが行う地区補助金 (通常枠・大口枠) の申請、最終報告書作成に係る支援を致します。寄付を財源とする補助金の意義と内容を伝え、クラブ活性化のため、地域や海外における補助金プロジェクトを推進することを支援致します。

(※詳細は、補助金管理セミナー冊子)



資金推進委員長

市川 弘将 (浦和北 RC)

資金推進委員会の役割は、財団プログラムを確実にするための資金である年次寄付及び恒久資金を中心とした寄付を皆様に懇請することが主な目的ですが、さまざまな寄付形式についてロータリアンに情報を提供しクラブを支援する委員会です。



資金管理委員長

藤村 作 (上尾 RC)

資金管理委員会は、補助金がきちんと使われるように管理することを目的としています。

<<米山記念奨学部門>>

米山記念奨学部門委員長
島村 健 (上尾 RC)



米山記念奨学事業は、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。地区からより多くの「懸け橋」を育むべく、寄付増進による一人でも多くの採用枠確保を目指し、より資質の高い学生の募集と選考、ロータリアンとの交流を通じた奨学生への奉仕精神・ロータリー精神の理解促進に努めてまいります。



米山記念奨学増進委員長
新井 登志彰 (上尾西 RC)

米山記念奨学増進委員会は第2770地区の米山寄付額の増進を図る事を主たる目的として事業活動を行います。2020-21年度の寄付実績は全国の地区の中でも第3位という高順位であり、これはとても誇らしい業績と言えるでしょう。そして今後もより多くの奨学生の受け入れに更なるご理解とご賛同をお願いするべく適切な情報を提供し、寄付増進の活動に努めて参ります。



米山記念奨学学友選考委員長
若盛 圭恵 (松伏 RC)

当委員会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事を目的とし、主に学友の推進と奨学生の選考の二つの役割を担っています。

学友は、奨学期間を終了した元米山奨学生で、米山学友会は、学友と現役奨学生によって組織されている会です。世代と国境を越えた交流の場となっており、学友主催事業の日帰り親睦旅行や合同奉仕活動については、学友会と連携を図り、多くの皆様にも参加していただき、現役奨学生・学友・ロータリアンと交流が図れる活動を行っています。



IT 委員長
内藤 考三 (大宮 RC)

コロナ禍をきっかけに各クラブでは多大なご苦勞のもと、コロナ禍で影響を受けづらいオンラインによる例会、プログラム開催などが進みつつあります。

コロナ禍が一段落したあとでも何らかの非常事態が発生したときには活動を止めること無く柔軟に対応できるように準備しておくべきであり、そのためには早急なIT化が必要になってきます。IT推進委員会ではロータリアン、各クラブ、地区のIT習熟度に関わらず利用できるDEIを前提としたIT推進を図ってまいります。

地区スタッフ

近藤 雅透
地区幹事
(浦和 RC)



細淵雅邦ガバナーより指名頂き、地区幹事を務めさせていただくこととなりました、浦和RC所属 近藤雅透と申します。

私は、滝澤幸男会員・故小川逸郎会員の推薦を頂き2008年6月13日に浦和RCに入会しました。ロータリーの事は何も分からず入会した私でしたが、クラブの

先輩たちに色々と教えて戴きながら今日を迎えております。

入会間もない頃は、頼まれた事は「はい・YES」以外の返事はしてはならないと教えられ、実践した結果様々な経験をさせて戴き、そして、多くのロータリー関係者と知り合う事が出来ました。

経験の一つとしてあるのが、2017-18年度に浦和RCの幹事を務めさせて頂いた事です。この年度の浦和RC会長が本年度ガバナーである細淵雅邦さんです。そして、当時のガバナーが大貫等さんであり、本年度は研修リーダーを務めくださいます。非常に強い“縁”を感じずにはられません。

当時、幹事職を担う直前の5月に事務局員が病に倒れ、事務局不在のまま準備を進め、新しい事務局員も入っていただきましたが、2人して、何もわからず右往

左往・休日もなく毎日事務局に詰め作業に追われる日々でした。そんな中、推薦者である滝澤さんの計らいにより、岩槻東RC事務局 西村寿美子さん、大宮北東RC事務局 北山恵美子さんが事務作業の応援に入っただけの事になり、事務局職務の「いろは」を学ばせて頂きました。お二人の手助けの御陰でクラブ運営が何事も無く続けて来られているものと感謝の念に堪えません。

地区幹事を務めさせて頂くのは、ロータリー関係者皆様に戴いた、今日までの恩をお返し出来る一つの形とも考えております。

地区幹事としての職を全うすべく、微力ではありますが精一杯努めてまいります。地区副幹事共々、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

よみがな

名前

所属クラブ

地区担当委員会

写 真

- ①職業分類
- ②会社名
- ③座右の銘
- ④オリンピックに出場するとしたらどの種目を選びますか？

う つ き み な こ
宇津城 美奈子

地区副幹事 (浦和東 RC)

社会奉仕部門、青少年交換委員会



- ①建設業
- ②柏木建設株式会社
- ③良い時もあれば悪い時もある
- ④新体操

たかはし きよ と
高橋 清斗

地区副幹事 (浦和東 RC)

青少年交換委員会



- ①スイミングスクール
- ②しんやまスイミングクラブ
- ③聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥
- ④水泳 (100m 自由形)

もりしま おさむ
森嶋 修

地区副幹事 (浦和東 RC)

奉仕プロジェクト全般、補助金・VTT 委員会、地区補助金運営委員会



- ①建築業
- ②株式会社 森島工務店
- ③蒔かぬ種は生えぬ
- ④相撲

すが ま かずひと
菅間 一仁

地区副幹事 (浦和東 RC)

公共イメージ部門、職業奉仕部門



- ①ユニフォーム販売
- ②株式会社埼玉ユニホーム
- ③百聞は一見に如かず 百見は一行に如かず
- ④アーチェリー

いけ だ ひでひろ
池田 秀弘

地区副幹事 (浦和東 RC)

米山記念奨学部門



- ①看板業
- ②株式会社 光工芸社
- ③臨機応変・千変万化 (なるようになる)
- ④巻藁千本斬り

いしかわ としひこ
石川 俊彦

地区副幹事 (浦和南 RC)

管理運営部門、職業奉仕部門



- ①建築塗装業
- ②株式会社 石川俊彦
- ③やれば、できる！
- ④水泳

さいとう けんご
齊藤 建吾

地区副幹事 浦和南 RC)

国際奉仕部門、青少年交換委員会



- ①不動産業
- ②株式会社ケン・ハウジング
- ③敬天愛人
- ④陸上競技 (3,000m 障害)

かじ ま じゅんこ
梶間 順子

地区副幹事（浦和中 RC）

公共イメージ部門、国際奉仕部門、インターアクト委員会



- ①アナウンサー
- ②オフィスJ
- ③一生懸命
- ④バドミントン

こ みや たい じ
小宮 泰二

地区副幹事（浦和中 RC）

ロータリー財団部門



- ①貨物運送事業
- ②有限会社 カクタス
- ③立って半畳、寝て一畳
- ④もちろんボートでしょ

くまさか はじめ
熊坂 創

地区副幹事（浦和中 RC）

国際奉仕部門、青少年奉仕部門



- ①建築業
- ②有限会社 くまさか
- ③奇跡・軌跡・奇蹟
- ④全力 100m

たかはし よしはる
高橋 宜治

地区副幹事（浦和ダイヤモンド RC）

会員増強維持委員会



- ①経営コンサルタント
- ②(株)ワイズ・ステージ
- ③機会を自ら創り出し機会によって
自らを変えよ
- ④バレーボール

あいかわ しん じ
相川 信司

地区副幹事（浦和 RC）

ローターアクト委員会、RYLA委員会、財団奨学・平和フェロー・学友委員会



- ①不動産賃貸
- ②相川商事株式会社
- ③精神的に向上心のない者はばか
だ
- ④サッカー

あら い た く お
新井 太久夫

地区副幹事（浦和 RC）

IT 委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会



- ①保険代理店
- ②株式会社ピースジャパン保険
センター
- ③そなえよつねに
- ④サッカー

いけ だ ともひろ
池田 知弘

地区副幹事（浦和 RC）

会員増強維持部門、ガバナー月信



- ①日本料理
- ②割烹 千代田（有）池仲商事
- ③一事が万事
- ④水泳

さ とう りょう
佐藤 亮

地区副幹事（浦和 RC）

管理運営部門、社会奉仕部門



- ①内・外装工事
- ②(株)サトウ塗装工業
- ③明快闊達
- ④ゴルフ

さとなか そういちろう
里中 宗一郎

地区副幹事（浦和 RC）

公共イメージ部門、公式訪問



- ①不動産業
- ②有限会社埼京ホーム
- ③為せば成るなさねばならぬ何事も
- ④射撃

しおかわ かずひこ
塩川 和彦

地区副幹事（浦和 RC）

管理運営部門、ポリオプラス委員会



- ①建築設計
- ②塩川設計測量株式会社
- ③男は義理と人情とやせ我慢
- ④射撃

もり や ゆき お
森谷 行雄

地区副幹事（浦和 RC）

ポリオ・プラス委員会、資金推進委員会、資金管理委員会



- ①工作機械製造
- ②株式会社浦和製作所
- ③Take it easy
- ④馬術

すぎやま あけみつ
杉山 空光

地区副幹事（浦和 RC）

インターアクト委員会、財団奨学・平和フェロー・学友委員会



- ①店舗管理
- ②株式会社中央企画
- ③明日がある
- ④柔道

た なか ゆういち
田中 勇一

地区副幹事（浦和 RC）

青少年交換委員会、補助金・VTT 委員会、地区補助金運営委員会



- ①警備設備
- ②株式会社 SPD アラーム
- ③思い立ったが吉日
- ④スケルトン

つる み かず や
鶴見 一也

地区副幹事（浦和 RC）

国際奉仕部門、ガバナー月信



- ① LPG 供給
- ②ツルミエネルギー株式会社
- ③明日は明日の風が吹く
- ④ゴルフ

なかがわ ただのり
中川 忠典

地区副幹事（浦和 RC）

ガバナー月信



- ①柔道整復師
- ②ニュートン整骨院
- ③柳は緑花は紅
- ④自転車競技

は せ がわ こういち
長谷川 功一

地区副幹事（浦和 RC）

IT 委員会、米山記念奨学部門、公式訪問



- ①警備
- ②システム・ガードサービス(株)
- ③行動しなければ始まらない
- ④スケートボード

よし だ まさおみ
吉田 正臣
地区副幹事 (浦和 RC)



- ① 神道
- ② 調神社
- ③ 有言実行
- ④ フェンシング

こ やま としゆき
小山 寿行
地区副幹事 (幸手 RC)



- ① 不動産業
- ② 株式会社アメック
- ③ 艱難汝を玉にす
- ④ 空手 (形) : 眼力と掛け声で何とかします!

23-24 年度地区幹事

**END
POLIO
NOW**

行動しよう
ポリオを永遠になくすために

ポリオを根絶する5つの理由

1 生活の向上

ポリオ根絶活動のおかげで、身体まひにならずにすんだ人の数は1900万人、命を落とすことのなかった人の数は150万人に上ります。

2 未来への投資

ポリオが根絶されなければ、今後10年間に、毎年20万人の子どもの身体まひになる可能性があります。ポリオの根絶は、すべての子どものために健康な世界をつくることです。

3 子どもの健康を向上

ポリオ根絶のサーベイランス (監視) や予防接種活動では、ビタミン欠乏やほかといったほかの健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できます。

4 医療費の削減

世界的なポリオ根絶活動により、1988年以来すでに、270億ドルの医療費が節約されています。2050年までに、さらに140億ドルが節約されると予測されています。

5 歴史をつくる

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。



1980年代末の時点で、毎年35万人の子どものポリオによる身体まひの犠牲になっていました。ロータリーとパートナー団体は今日までに、ポリオの症例を99.9パーセント減少させることに成功しています。しかし、ポリオウイルスを完全になくすには、以下の活動のための追加資金が必要となります。

予防接種

毎年4億人以上の子どもへのポリオ予防接種

サーベイランスの向上

ポリオウイルスを入または環境から検知するためのサーベイランスシステムの向上

保健従事者の雇用

すべての子どもに予防接種を行うために戸別訪問を行う15万人以上の保健従事者の雇用

endpolio.org/jaからご支援を

Rotary



943-JA-(220)

ガバナー月信担当より

ガバナー月信は、ガバナーからのメッセージや地区からの活動のご案内、その他情報発信のツールですが、細淵ガバナー年度ではこれらに加えて、各クラブの皆様の活動の様子をガバナー月信の中で広報していきたいと考えております。皆様からの情報発信の寄稿をお待ちしております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022 - 23 年度 公式訪問日程表

曜日	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
月		1 浦和南 埼玉ゆず				
火		2 三郷 三郷中央			1 鴻巣	
水		3 幸手			2 春日部南	
木		4 越谷南	1 浦和東		3 文化の日	1 川口むさし野
金	1	5 上尾北	2		4	2
土	2	6	3	1	5	3
日	3	7	4	2	6	4
月	4	8	5 戸田	3	7 大宮シティ	5
火	5	9 浦和北東	6 八潮 草加松原	4 春日部 幸手中央	8 川口シティ鳩ヶ 谷	6
水	6	10 鴻巣水曜	7 浦和北	5 大宮	9 蓮田	7
木	7	11 山の日	8 大宮南 浦和中	6 吉川中央 草加シティ	10 杉戸	8 春日部西
金	8	12	9	7	11	9 浦和
土	9	13	10	8 さいたま大空	12 地区大会	10
日	10	14	11	9	13 地区大会	11
月	11	15	12 川口中央	10 スポーツの日	14	12
火	12	16 大宮北東	13 川口東	11	15 岩槻東	13
水	13	17 川口南	14 大宮東	12 川口 / 鳩ヶ谷武南 八潮イブニング	16	14
木	14 さいたま中央	18 八潮みらい	15 戸田西 戸田イブニング	13 川口	17	15
金	15	19	16	14	18	16
土	16	20 川口モーニング	17	15	19	17
日	17	21	18	16	20	18
月	18 海の日	22 IA 年次大会	19 敬老の日	17	21	19
火	19 蕨 川口北東	23 大宮北	20 さいたま櫛	18		20
水	20 三郷ウエズ デー吉川	24 越谷北	21 桶川	19	23 勤労感謝の日	21
木	21 越谷東 春日部イブニング	25 久喜 北本	22	20 川口北 草加中央	24 鳩ヶ谷	22
金	22	26	23 秋分の日	21	25	23
土	23	27	24	22	26	24
日	24	28	25	23	27	25
月	25 大宮西	29 さいたま新都心	26	24	28	26
火	26 さいたまシティ 大宮中央	30 越谷	27	25 越谷中 松伏	29 川口西	27
水	27 上尾西	31 浦和ダイヤモンド	28	26 庄和	30 桶川イブニング	28
木	28 上尾		29	27 岩槻		29
金	29		30	28		30
土	30			29		31
日	31			30		
月				31		

※上段：昼点鐘 下段：夜点鐘

※予定は変更になる可能性があります。

※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通じて地区へご連絡願います。

From CAR GRAPHIC Publisher



株式会社カーグラフィック 代表取締役 加藤 哲也

経歴：

1959 年東京生まれ。1985 年株式会社二玄社入社、CAR GRAPHIC 編集部配属。2000 年から同誌 4 代目編集長を務める。2007 年から姉妹誌 NAVI 編集長を歴任。2010 年、CAR GRAPHIC 事業／商標を二玄社から譲渡され、新しい出版社株式会社カーグラフィック設立。

同社代表取締役に就任。現在に至る。

ロータリークラブ細淵雅邦ガバナーとはお互いの人生に欠かせない自動車を通じた 30 年来の友人。

サーキットやイベント会場で度々顔を合わせるだけでなく、先日は某有名シンガーのライブ後、イタリアンレストランで大騒ぎしたばかり。

親愛なるロータリークラブの皆様へ

ロータリアンの皆さんにこんなことを言うのは愚の骨頂かもしれない。しかし敢えて今回は言おう。日本でパトロンという決して響きが良くない言葉だが、僕が知る限りヨーロッパは違う。

芸術家を支援するのもパトロン。70 年代後半ぐらいまでの F1 ドライバーだってそうだった。小規模なスポーツカーメーカーも、貴族の援助で誕生した例が珍しくない。

要は文化を支え、育む人たちをパトロンと呼ぶ。

巧なり名をあげ財を築いた人々は、何かしら社会に貢献、還元しないと恥ずかしい。そんな意識が根底に流れているのだと思う。

ちょっと古いがアニエスベーはフランス映画界の支援者として有名だった記憶がある。

60 年代初頭、フェラーリのカリスマ創設者エンゾに「妻ラウラの仕事への介入をやめさせて欲しい」と直訴した有名な設計者、カルロ・キティ、ジョット・ビッツァリーニらが、逆に解雇を言い渡された。そのとき彼らを救ったのがヴェネツィアのジョヴァンニ・ヴォルピ伯爵をはじめとする篤志家 3 人だった。彼らの支援を受けたキティ、ビッツァリーニらは、ボローニャに ATS という小規模なスポーツカーメーカー創設する。

目的は“打倒フェラーリ”。急造した F1 は信頼性に問題を抱え初年度はまったく結果を残せなかったが、1963 年、彼らは極めて魅力的なミッドエンジン・スポーツカー、ATS2500GT をデビューさせる。燃料タンクを兼ねた H 型フレームの背後に積むのは DOHC V8。流麗なクーペボディはフランコ・スカリオネがデザインした。

その発表会に立ち会ったエンゾ・フェラーリは「エンブレムが違う」という言葉を残し会場を去ったという。つまりこの美しく精緻なスポーツカーは、本来跳ね馬のマークをつけるべきだった、という意味だ。

残念ながら ATS は設立から 3 年後、人間関係の軋轢でパトロンが離れ、倒産の憂き目を見る。

しかしキティは諦めなかった。移籍したアルファ・ロメオのレース部門で、史上最高と言われるスポーツカー、ティーポ 33 ストラダレを生み出すのである。

スタイリングを担当したのは ATS と同じスカリオネ。H 型フレーム、ミッドシップ DOHC V8 エンジンというレイアウトも同様だった。つまり ATS2500GT と同じメンバーで、基本設計を踏襲した名車を生み、ロードカーの歴史に永久に残る名車を残したのだった。

皆さんのような篤志家の活動が歴史を動かし、伝統を作るのである。



1963 年に発表された ATS2500GT。フェラーリを解雇された名設計者たちがパトロンの支援を受け完成させたミッドエンジン。スポーツカーだ。



そしてこちらがアルファ・ロメオ 33 ストラダレ。ATS のアイデアを昇華した歴史に残る名車である。

クラブ活性化にむけて、各クラブからの発信

2770 地区の全てのクラブの皆様に積極的にロータリーの活動にかかわっていただき
奉仕活動をグループ毎に実施、発表を地区大会で行う予定です



今年の地区大会は 2770 地区 2500 名の一人一人のみなさまが主役です
皆様のサポートをいただき 2770 地区らしい、地区大会にしたいと考えます